

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 27 号

発行 2014 年 05 月 20 日

発行人 中村 晃

後藤さんの思い出&中国旅行

川 上 義 人



親しくさせて戴いた後藤さん、青木さんが相次いで亡くなられ、誠に残念です。特に後藤さんは同じ熊本市内でしたので、毎月 1 回以上はお宅にお伺いし、春には梅ちぎり、秋には柿ちぎり、また奥さんの病院にお連れしたり、お城の二の丸広場を散歩したりしていました。しかし、昨年後藤さんの後を追うように私の母が 4 月 2 日に亡くなり、後藤さんの通夜には参列させて戴きましたが、後藤さんの 49 日、お盆等が母親と重なり、而も後藤さんのお家が普段閉まっているものですから、お仏壇に線香をあげることも出来ず残念です。

ところで、前々から後藤さんの一眼レフが欲しいと思いながら手に入れる事が無かったのですが、3 月 31 日に母の一周忌法要で伊予西条に帰った折に、消費税増税の前の駆け込みで、漸く手に入れました。西条ではパソコンが無いので使用方法を検索出来ず、未だ使用方法を良く理解できていません。

九工大時代に所属していた軟式庭球部の同窓会は、昭和 39 年インターハイ優勝以来、2 年に 1 回開催していますが、今回は去る 10 月 11～14 日、同窓生が大きな会社を経営している中国山東省の威海市に行ってきました。日清戦争で海軍の戦場になった所で、当時は威海衛と云われ、中国の基地だったそうで、今でも海軍の基地が 2ヶ所程ありました。我々はその会社のテニス部と親善試合をしたり、威海東南部成山頭観覧、夥しい数の風力発電の棟や秦の始皇帝の寺等の見学をしたりしました。

翌日は劉公島へ船にて威海衛の戦場の碑等を観る予定でしたが、台風 19 号の影響で風が強く、渡航は断念しました。

人口 2700 万人の威海市ですが、片側 3 車線 4 車線の道路、緑地帯が松林で車道側には虫除けの石灰が 1 m 位白く塗ったようです。緑の多さには感心しました。山東半島の北東の端ですので、海岸線が千 km あるそうです。PM2.5 が北京で 700 とかテレビで報道されていたので、空気の汚れを心配していましたが、海岸に接して居り、風が強かったですが、緑地が多いので日本よりも良いのではと思われます。中国を見直した旅でした。



懇親試合をしたテニス部の人達と



威海市の海岸

福岡と博多 官兵衛が創った町

市 木 丞



福博であい橋から北に向かって 右：博多 左：福岡

私の生まれ育った町・福岡市に1本の川が南北に流れています。「那珂川」です。この川を挟んで町が東西に二分化しています。

東側を「博多」商人の町、港町とし、西側を「福岡」武家町、城下町として黒田官兵衛親子が町割りをし、繁栄させたのです。

この二分化された町は全く文化の違った双子の町です。九州最大の歓楽街「東中洲」は博多にあります。観光客に人気が高いのが那珂川河畔に軒を並べる「屋台」です。

（博多と食文化）

「博多」は、1250 余年前の史書「続日本記」に「博多大津」（博多という大きな港）と記載があり、中国大陸や朝鮮半島と交易をして繁栄していたようです。

この博多の地名を「冠」にした食品が沢山あります。「博多明太子」「博多豚骨ラーメン」「博多もつ鍋」等です。また、代表的な家庭料理に「鶏の水炊き」、海藻を煮詰めて作る「おきゅうと」、筑前煮は博多では「がめ煮」と言います。また、一説によれば「うどん」「そば」の発祥の地とも言われています。

（福岡の地名の由来）

一方、400 年ほど前に黒田親子が、商都・博多を取り込んだ城下町の形成を考え「福崎」に福岡城の築城を決めました。その際に地名を「福岡」と改称したのです。

その地名は黒田家発祥の地、備前福岡村（現岡山県瀬戸内市）にちなんだものです。今、福岡に城下町の名残は僅かに残っている旧町名と福岡城跡の石垣です。この石垣は堅固で総延長が 3.5km もあり、古城の栄華を偲ばせてくれます。

今年、NHK で大河ドラマ「軍師・官兵衛」が放映され、「福岡」が注目されています。



福岡城址 （塩見櫓）



福岡城址 （石垣・総延長 3.5km）

近 況 報 告 （ 例会返信 ）

（ 欠席 ）

武田 敏光 元気にやっております。

山中 俊一 毎週孫たちが来て、いろいろ話を聞きながら、晩酌するのが楽しみです。

薬師寺 是文 時々大分県の故郷へ帰っています。日程が合えば参加するのですが、今回は今週末に帰る予定ですので不参加とします。皆さまによろしくお伝えください。

西村 和夫 先日、慰安旅行で鹿児島に行きました。ちょっとですが、永井さんとも会えました。

橋本 滋 元気で過ごしています。亡母の3回忌、孫の七五三があり、11月10日から1週間東京に行くことになっています。山九会ゴルフ3連覇がかかっていたのに残念ですが欠席します。

岩出 進 相変わらず健康維持の為、テニスを楽しんでいます

上野 賢二 所用により欠席させていただきます。尚、地元でお手伝いしている「城島酒蔵びらき」は第21回が平成27年2月14日（土）15日（日）久留米市城島町で開催予定です。是非お出かけください。

渡邊 和憲 夫婦むつまじく元気に過ごしております。11月に長男が結婚します。飲み助の娘が一人増えてますます楽しみです。

小林 憲二 九州カネライトに着任し6か月が過ぎました。まだまだ経験不足ですが、着実に先輩方の歴史を受け継ぎ市場環境に対応できる会社にしていきたいとガンバっています。

坂元 均 特に変わった事ありません。今回は用事が重なったため、欠席します。

池田 広治 都合で欠席します。鐘華会総会には行ってきました。昔の仲間にたくさん会えて良かったです。

成相 定雄 10月5・6日で高砂の同期会に行きました。50年ぶりに会う顔もありました。当然ながら人も街も昔が思い出せない程変わっています。改修された姫路城は輝いていました。（例会が月・水・金であれば出席可）

永井 辰夫 長雨の影響で稲が倒れて、稲刈りは大変でしたが、収量は昨年より多く出荷できました。が、米粒が昨年より大巾にダウンしたのでフトコロは寒々として、遠くへ出かける余裕がありません。盛会を祈ります。

（ 出席 ）

真部 邦則 元気です。70才まではゴルフに頑張ります。

王寺 常雄 青木得志さんが亡くなられて大変寂しい限りです。入社後一緒に高砂で過ごした数年間の思い出しきりです。ご冥福をお祈りします。

市木 丞 元気潑刺。テニスとグランドゴルフを楽しんでいます。

檜崎 賢治 7月より3ヶ月、要介護になるのを予防する講習会を受講しました。週1回、月4回、自宅に送り迎え付で費用は0円です。器具を使つての体操やイスに座つての体操でした。

上野 興志隆 ① 最近薬の量が増え、酔うに必要な酒量は減 ② ピロリ菌退治の薬服用。近々結果診断 ③ 人口減少下でのまちづくり戦略検討中。最後は神頼み。神社庁総代会や春日黒田の祭りに精力。（今年は軍師官兵衛に肖る）

廣政 誠 農作業・草刈奉仕等々で身体がガタガタ。年のせいか回復も遅くなった。老人力で頑張るしかない。

池野 治彦 お世話になります。

川上 義人 10月11日から14日まで中国威海に行つて参りました。軟球部の同窓会がありまして、山東半島の東端にある250万位の都市ですが、交通網の整備が進み、12月には新幹線も通り、道路整備も進んでいます。海岸線が千kmあるそうです。

石原 晋一郎 奈良に戻り今年で10年になります。九州の良さは離れてみると良くわかります。関西に住んでいるおられる仲間の人と九州の写真を撮りに来ています。13日の会合を楽しみにしています。

竹内 久善 菜園含め庭の整理・整頓作業が中心で黒い顔が一段と黒くなりました。その苦労もあり蜜柑、柿の収穫が多く毎日飽きるほど食べています。質より量の状態で皆様にお分けできないのが残念です。

園 博 11月で定年5年目の契約更新を行い来年誕生月（6月）で退職することを決心しました。以降のことは何も考えていませんが、チャンスがあれば何かしようとは思っております。

中村 晃 昨年末、腰部脊柱管狭窄症になりましたが、何とか飲み薬で治まっています。日本シリーズ第4戦でソフトバンクの中村晃がサヨナラ3ランを打ちましたが、実は私です。

平成 26 年支部例会報告



11月13日（木）、14日（金）、第15回九州支部例会を福岡市で開催した。

13日、前日までとは打って変わって寒波が襲来したが、観光を希望する7名は昼過ぎに地下鉄「赤坂」駅に集まり、飛鳥・奈良・平安時代の迎賓館として活躍した「鴻臚館跡」と「軍師官兵衛」の黒田親子が関ヶ原の戦い後に築いた「福岡城跡」を見学した。ボランティアガイドが詳しく説明してくれたので、飛鳥時代から江戸時代までの歴史のお勉強が出来た。

夕方、博多料亭「稚加栄」に会長を含めた5名が加わり、総勢12名で例会と懇親会を開催した。例会では、原会長から自己紹介とカネカの中間決算の内容を中心に詳しく現況の説明を受けた。会員はカネカの現況を聞く機会が全くないので、大変興味深く傾聴した。次に支部長の支部活動報告の中で、鐘華会総会は約540名参加したが、九州支部からは2名だけと寂しかったと報告があった。懇親会では、イカと関アジの活き造りが好評だった。各自近況報告をしたが、要介護予防の講習会を受講したとか、最近薬の量が増えたとか、疲れの回復が遅いなどと老化の話が多かったが、ビール10本、焼酎ボトル4本があつという間に空になり、皆さんの酒量が落ちているはずと「飲み放題コース」にしなかった幹事を慌てさせた。

翌14日はゴルフ組（8名）と観光組（4名）に分かれた。ゴルフ組は名門「芥屋ゴルフ倶楽部」でのプレーで、前日から気合が入っていたが、結果はいかに？（成績は別に掲載）

中村 晃 記

秋季鐘華山九会コンペ成績



1. 開催日時： 平成 26 年 11 月 14 日（金）
2. 場 所： 芥屋ゴルフ倶楽部
3. 成 績

順位	氏 名	NET	順位	氏 名	NET
優勝	原 哲郎	75.2	5 位	上野興志隆	79.4
準優勝	竹内久善	76.8	6 位	坂本正志	84.2
3 位	廣政 誠	77.0	7 位	王寺常雄	84.4
4 位	真部邦則	77.8	8 位	池野治彦	86.2

4. 講 評：

- ①今回は1組の年長組（池野、王寺、上野、広政）はゴールドマークより、2組の若手組（原、真部、坂本、竹内）は白マークよりスタート。
- ②正確なショットの原選手、特にグリーン回りに冴えを見せ、本人不満なスコアでも優勝。
- ③新規参加の竹内選手は華麗なスイングで飛距離抜群。前半スコア45に抑えるも、後半グリーン周りのアプローチでミスを出し、準優勝。
- ④3位の広政選手。本人は不満でも安定したスコアは年60回をラウンドする熟練が光る。但し、昼のビールにこたえた風で、ショットが安定しているもののパターの集中力を欠く。後半、長いパットが決まるも間に合わず。
- ⑤年間100回のランドをこなす真部選手はドライバー、アプローチとそんなに悪くないようなのに何故か優秀から見放される。但しベストスコアで、プライドは維持。
- ⑥上野選手のドライバーはナイスショットが出るかと思えば、ドタバタが出たり、バンカーに捕まったりで悪戦苦闘。グリーンでは40cmを5パットする悪態ぶり。
- ⑦坂本選手はティショットとアプローチに苦しみ、王寺選手はフェアウェイで苦しみ、池野選手はパットで苦しむ。

5. 感 想： プロも苦戦する最高のコースで、天気にも恵まれ、楽しいゴルフでありました。更に終わった後のお風呂からの景色がなんと豪快で素晴らしいものであったか。「また挑戦したい」が、みんなの意見。

上野興志隆 記

(自己紹介及び近況報告)

小 林 憲 二



定年を迎えるにあたり、九州を離れ 15 年ぶりに帰ってきました。

東京在任中はカネライトフォームの営業、ソーラーサーキットシステムの普及並びに事業化、カネカケンテック並びに土木事業の再編と、個々に

短期ではあるものの重要なポストを与えられ単身赴任生活だからこそ仕事に邁進することが出来ました。

それも結婚して今年 35 年目となった女房が自宅香椎台の家を守ってくれたから出来たと感謝して九州に帰ってきました。

3 月末よりカネカ入社以来初の工場勤務である断熱材「カネライトフォーム」の製造会社の九州カネライトに着任し、自宅から二時間の片道通勤ではと久留米で単身赴任生活を続けることとしました。

5 月に定年を迎え、新たな人生も一人暮らしの現役。営業職はそれなりに経験してきましたが、製造職は毎日が勉強の日々で本当に大変です。本当の第二の人生はもう少し我慢です。

福岡を離れた期間中に二人の子供達も成長し家を離れているものの、何かあれば皆で自宅に集合する場面には帰りやすくなり、孫二人に会える機会も楽しみ。好きな車の運転も毎日片道 40 分程のマイカー通勤を開始しましたが、若い時と違って「楽じゃなかなか」と実感している毎日。

やっぱり九州に帰ってきて「九州は良かとこばい」と、これから鐘華会九州・山口支部の諸先輩の皆さんと実感できる機会を楽しみに思っています。最後輩としてご指導宜しくお願いします。

【 平成 26 年度支部活動報告 】

年	月	日	活 動 内 容
26	01	24	(鐘華会定例役員会)
	02	01	(鐘華 70 号)
	02	24	支部幹事会 (黒崎にて)
	04	10	職場訪問 (九州カネライト) (14 名)
	04	11	第 11 回山九会 (八女上陽 GC) (7 名)
	05	15	支部だより 26 号発行
	08	01	(鐘華 71 号)
	08	01	(鐘華会定例役員会)
	08	29	支部幹事会 (福岡にて)
	10	23	(鐘華会総会)
	11	13	第 15 回支部例会 (福岡にて) (12 名)
	11	14	第 12 回山九会 (芥屋 GC) (8 名)
	11	20	支部だより 27 号発行

(特記事項)

*5 年に 1 回開催される鐘華会総会が神戸で開催され、九州支部からは池田広治、中村晃両氏が参加。

参加者総数：536 名

*各行事については「支部だより」や「鐘華」に掲載。

(会員の異動)

*新会員 竹内 久善さん (平成 25 年 11 月)

小林 憲二さん (平成 26 年 05 月)

*ご逝去 青木 得志さん (平成 26 年 6 月 16 日)

【 定例役員会報告 】

◇平成 26 年 8 月 1 日、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇特記事項は下記の通りです。

①山崎会長挨拶

- ・ 鐘華会創立からの歴史を振り返り、早川会長の時に会費を徴収ことになり、健全運営を行うようになった。
- ・ 4 年の任期満了となったので、次期会長を原哲郎さんをお願いすることにした。

②入会のタイミングについて

- ・ 60 才定年後も再雇用で働く人が増えているので、LC も含めて、入会のタイミングについて検討したい。

あとがき

- ・ 昨年の後藤さんに続いて、今年は青木さんが亡くなられて、誠に寂しい限りです。
- ・ 今年の例会は福岡市で開催したが、嵐のコンサート、学会、大相撲などでホテルの予約に苦労した。
- ・ 川上さんは、中国 (威海市) に行って、すっかり中国を見直したそうだが、中国は広いです。
- ・ 市木さんに福岡と博多について書いてもらった。福岡市の名称については市議会で揉めたようです。
- ・ 小林憲二さんが、福岡に戻り、新しく会員になりました。今後の活躍を大いに期待しています。
- ・ 秋の「支部だより」は、今後は例会が終わった後に発行することにしました。